

よろって離れ(裏)



よろっでの裏にある倉庫を改修し、裸電球が吊られた温かい雰囲気の一部屋もイベント開催時は重宝している。

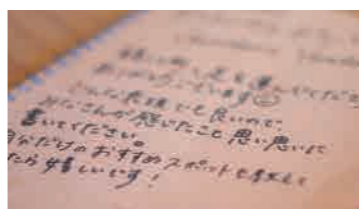


シングルベッドが2つ置かれた個室タイプの部屋が1室。すべて部屋にエアコンを完備し快適に過ごせる。

よろって内部大図鑑

10年ほど空き店舗になっていた大根占中央商店街の浜園商店跡をリノベーション。当時は15人も従業員が寝泊りしていたと言うのも納得の広さで、なんと築90年以上の歴史ある物件。吹き抜けの大梁は圧巻。

築90年!

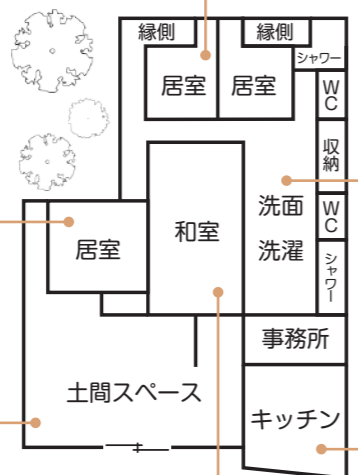


よろっでの入口に置かれたノート。訪れたゲストが思い思いに今の気持ちを書き綴っている。出合いに感謝、鹿児島島の家族、最高の時間などコメントには共通点が多い。新たな出合いを楽しんでいるよう。

商店街の空き店舗にゲストハウス「よろっで」がオープンして1年。大根占中央商店街で飼料や米を販売していた浜園商店跡を改修し、昼はカフェ、夜はバーを営業。そして宿泊もできるゲストハウスよろっでは大屋根と斬新に青くペイントされた外壁が目を引く。一方で、中に入ると築90年以上という歴史を感じさせる味わい深い大梁が出迎え、温かくゆったりとした時が流れる。そんなよろっでだが、オープンした昨年6月は新型コロナウイルスが猛威を振るい、日本初の緊急事態宣言が出される状況。当初はカフェ営業のみに限定し、遅れてバーと宿泊を開始。人が集まりつながる場を目指していただけに厳しい環境での船出となった。



2段ベッドが2つあるドミトリータイプの部屋。広さは7畳で4人まで宿泊可。ドミトリーは2部屋ある。



洗濯機や乾燥機、洗面台などの共有スペース。アイロンやドライヤーも無料で使える。



吹き抜けの天井と土間の組み合わせで、昼はカフェ、夜はバー、そしてイベント会場にもなる。



みんなで利用できる和室スペース。その広さは16畳と、夏休みは宿題を持参した子どもたちが多かった。



宿泊するとカフェやバーの営業時間以外なら電子レンジや冷蔵庫も無料で使える。緑茶&紅茶のサービスも。

「オープンするまでたくさんの人たちに支えられた。少しでも恩返しを」と、弁当届け隊として町内飲食店の弁当を無料で配達する取り組みを始めたよろっでスタッフ。「まずは自分のことを知ってもらおう、そして一緒につくっていくステップを踏む。少しずつ緩やかに楽しい空間が生まれていく。そして訪れる人もそこに住む人も、また来たいと思ってもらえる場所にしたい」と山中さん。

一緒につくっていくステップで緩やかに出合いの場が生まれる

人が出合いつながらることで新しい風を生み出すことをコンセプトにするゲストハウスよろっで。子どもからお年寄りまで、地元の人にこそ訪れてほしいと昼はカフェを営業。季節ごとにイベントも企画して好評を得ている。「夏休みは宿題を持って来てくれる親子が多かった」と話すのはよろっで新メンバーの吉屋和鼓さん。若泉誠さん。「農家さんから



吉屋 和鼓 未来づくり専門員 (空き家利活用チャレンジャー)

東京都葛飾区から移住した吉屋さん。空き家を活用した草木染工房を目指す。



若泉 誠 未来づくり専門員 (空き家利活用チャレンジャー)

宮城県仙台市から4月に移住した若泉さん。夏休みの子ども食堂を企画した。

野菜をもらう機会も多く、夏休みは昼食の準備が大変というお母さんたちの声も聞いていた。そこでお試し企画として、子ども食堂にチャレンジしました。全13回を計画しキャンセル待ちが出る人気ぶりに手応えを感じた若泉さん。「子どもたちの笑顔に元気をもらった。縁日も計画したけどコロナの感染拡大で断念。落ち着いたらあらためて計画したい」と前を向く。幅広い世代に向けて企画力と実行力で出合いの場を生み出している。

出張マッサージサロン



営業時間中でもスペースの一部を借りることができる。臨時の出張マッサージサロンがよろっで内に開店した。

スマホの使い方教室



スマホ操作に不慣れな高齢者向けの教室をドコモが開いている。好評を受け毎月2日間、定期開催される人気企画。

児童公園の遊具を自分たちで



撤去されたままの児童公園の遊具。自分たちが使う公園に、自分たちの手で遊具を作ろうとアイデアを出し合う。

夏休み子ども食堂オープン



この日は夏野菜たっぷりのカレーをみんなで完食。「地域を超えた子どもたちの交流にもつながる」と話す若泉さん。

高齢者いきいきサロン



田代地区から訪れたという高齢者いきいきサロンのメンバー。料理はもちろん、スタッフとの会話も一緒に楽しむ。

フリースペースが大活躍 世代を問わず盛り上がる

土間や和室は誰でも使えるフリースペース。子どもから大人まで、そしてお年寄りまで訪れて盛り上がっている。児童公園の遊具を考える子どもたち、スマホの使い方を習う人たち、出張サロンなど自由な使い方は想像を超えていた。